

Watching Carefully

取材・文/竹中 聡(本誌) 撮影/鈴木 誠一

α -Station & BAILEYS Presents "Meet BAILEYS ! KYOTO" @ 新風館

**アイルランドってどんな国？ からお教え致しましょう。
最後はどうなるか？ さらにベイリーズが忘れがたくなります。**



いわゆる「Massive Attack」というヤツだ。テレビ、ラジオ、雑誌に電車内…。およそ考えられる限りの媒体にこのリキュールの名前が踊る。今回のイベント名は「 α -Station & BAILEYS Presents "Meet BAILEYS ! KYOTO"」。昨秋に「BAILEYS Kick Off Event in Kansai」というイベントで華々しく京都に風を巻き、木屋町のWORLD【世界】をジャックしたベイリーズが、次は新風館をジャックした。京都が誇るFM局、 α -Stationを抱き込んで。

この日、新風館の中庭全てを使って行われたのは、言ってみればお勉強会。「アイルランドとはどんな国か？」から「どんな飲み方が美味しいか？ また意外にイケルか？」まで、第1部の司会役には α -Stationでお馴染みの大久保かれん嬢が、チャキチャキの京都在住アイリッシュ、Mr.ダンカン・ハミルトンを相方に務め、極めつけは京都出身シンガーを代表するbirdのライブ&インタビュー。第二部のCLUB DJ SHOWには10周年を迎えたKYOTO JAZZ MASSIVE沖野修也まで招聘。どっちのライブももちろんタダ。複数箇所ベイリーズ試飲コーナーを設けてこれまたもちろんタダ。見る側にとってはタダ酒が飲めてビッグネームのライブもタダ観。こうなると主催は α -Stationかベイリーズかはこの際どうでも良い。

ただし皆さん。これはお勉強会です。「アイルランド出身の著名人がシンニード・オコナーにエンヤにヴァン・モリソンにピアース・ブロスナンに…」、「Whiskey」と、kとyの間に'e'が入るとそれはアイリッシュ・ウイスキー」「そのアイリッシュ・ウイスキーとフレッシュクリームがベイリーズの原料」「アイルランドから輸出される酒の50%がベイリーズ」「世界で最も売れているリキュール」「ウーロン茶など、お茶で割っても美味しいですよ」等々…。ベイリーズの上級知識、お忘れなきように。知れば知るほど、忘れること叶わぬ味になりましょう。





A. 本日のBAILEYS LADY吉川朋佳さん。アイルランドの自然に思いを馳せつつサーヴに精を出す。「でもトレイを持つ左手が…(笑)」。意外と重労働ですものね。**B.** α-Station「ROUTE 894」の水曜と木曜(16:00~19:00)のDJを担当する大久保かれん嬢。会場に向かって「飲まれました? まだ一杯だけ? じゃあまだ大丈夫ですね(笑)」。何が大丈夫か解らないが、流石である。**C.** 「ミルクティのような味わいのベイリーズウーロン改め『上海ベイリーズ』は、食事にも合うのでとってもおすすめです。ぜひ試してください。京都らしく抹茶のリキュールと合わせてもいいですね」。販売元MHDディアジオ モエ ヘネシー社から直々に参じたPR担当・鎌田さん。**D.** ゲストとしてアコースティックVerの持ち歌を2曲ご披露のbird。「甘くて美味しいですね。普段の昼間でも飲めるかな」というのがインプレッション for ベイリーズ。来る3月19日の大阪なんばHatchを皮切りに、「bird tour 2005 "enjoy vacation"」がスタート。**E.** 女性のひとり客と思ったら、これまたα-StationのDJ中みつ美嬢。「イベントの経験が浅いもので(汗)」と終始舞台袖で先輩のお仕事ぶりを拝見。勉強熱心!**F.** 「ベイリーズもライヴもタダやし(笑)」という和恵さん・さやサンは確信犯。「コーヒーとかヨーグルトを合わせることも」という数年来のベイリーズ上級者でもあり。何よりのイベントでしたね。**G.** アイリッシュバブに務めるPaddyさんは「ベイリーズグリーンティ」をトライ。もちろん初体験の味。でも「Good Taste!」とご満悦。「We don't have a bad bone in our body (アイリッシュは皆ええやっちゃでえ)」と、レクチャーしてくれました。**H.** 犬と歩いたらイベントに当たった岡村さん。愛犬トリュフ君とお散歩中にベイリーズを「初めて飲みました(笑)」。基本的にはお酒は飲まないそうでも、でもベイリーズなら飲みました。**I.** 「Happy Table」というユニットから安田純子さんが料理講師としてご登場。ベイリーズを使ったスイーツなどを実演レクチャー。実はダンカンさんの奥様でおしどり夫婦も「同じステージで仕事をするのは初めて。やりにくかったです(笑)」。

